

市民等からの 提出課題一覧

1. バスアプリ
2. タクシーやバスの予約アプリ
3. イカすニモカのスマホアプリ化
4. 防災DX
5. 在宅生活者の環境整備
6. 電子カルテの共有
7. 単身高齢者見守り
8. 気象観測データの漁業への活用
9. 地域回覧板のデジタル化
10. キャッシュレス決済の推進
11. 若者の居場所づくり
12. 行政のデジタル化推進
13. 子ども服などの譲渡会
14. リモート授業
15. 教員の働き方改革
16. デジタルデバイド対策

1. バスアプリ

・ 課題提出：市民



課題の背景

- ・ 交通網が弱い
- ・ 路線バスなどが利用しやすい環境の整備が必要

課題解決の手法（活用したいデジタル技術等）

- ・ バス発着時刻や最寄りのバス停や乗継路線を検索できるアプリの導入
- ・ 家族を登録することにより，子供の帰宅時間や，高齢者（認知症）の問題が解決できる

課題解決によって想定される効果

- ・ バスの利便性の向上

2. タクシーやバスの予約アプリ

・ 課題提出： 市民



課題の背景

- ・ 函館市内の主な交通機関がいずれも減便や運賃の値上げなど利用しづらい

課題解決の手法（活用したいデジタル技術等）

- ・ タクシーの相乗り予約アプリやバスの乗車予約アプリ

課題解決によって想定される効果

- ・ 移動がしやすくなる
- ・ タクシーが利用しやすくなる
- ・ 公共交通機関の利用を促すことができる

3. イカすニモカのスマホアプリ化

・ 課題提出： **市民**



課題の背景

- ・ 障がいの影響で物を落とすことが多い
- ・ イカすニモカがスマホアプリになれば落とす心配もなく，安心して使いやすい

課題解決の手法（活用したいデジタル技術等）

- ・ イカすニモカをスマホアプリ化する

課題解決によって想定される効果

- ・ 現金でのチャージや，特定の場所でのポイント交換が不要になるなど，便利になる

4. 防災DX

課題提出： 市内



課題の背景

- 近年，線状降水帯の発生など，大雨災害発生の危険度が急激に高まることが多く，より迅速な災害対応が必要
- 災害時，災害対策本部に集まった情報がアナログな手法で管理され，スムーズな情報共有が難しい

課題解決の手法（活用したいデジタル技術等）

- 災害発生の可能性が高い河川や道路にカメラやセンサーを設置する
- 地図データ上にカメラの映像や見回り現場の画像など，災害対応に必要な様々な情報を一元的に表示させる

課題解決によって想定される効果

- 関係者間でスムーズな情報共有ができ，迅速な災害対応が可能となる
- 将来的には，市民向けの情報伝達ツールとして活用することも考えられる

5. 在宅生活者の環境整備

・ 課題提出： 市民



課題の背景

- ・ 在宅で健康指導などの支援が必要な高齢者などに対して、生活習慣に関する助言などのサポートを行いたいですが、在宅生活者にはなかなか行き届かない状況

課題解決の手法（活用したいデジタル技術等）

- ・ 病院からのオンライン面談により、生活習慣見直しに係る啓発、相談などを行う
- ・ 体に装着する遠隔モニタリング機器などを用いて、支援が必要な人のバイタルなどをリアルタイムに管理する

課題解決によって想定される効果

- ・ 健康意識の向上や生活習慣改善に向けた行動変容につながる
- ・ モニタリングで、重症化による入院を防ぎ、在宅生活を継続できる

6. 電子カルテの共有

課題提出：市民



課題の背景

- 数年前に入院・手術した後、予後の悪化から別病院で入院・手術することになり、その際、病名は言えても、詳しい状況は伝えられなかった
- 病院側も緊急入院で時間がない中で、違う病院からの確認作業は時間がかかるとのこと（夜間や休日は特に）

課題解決の手法（活用したいデジタル技術等）

- 電子カルテの市内での共有
- 本人のマイナンバー等への紐付け

課題解決によって想定される効果

- 救急搬送，入院時における時間短縮
- 患者への治療方針・処方判断への活用

7. 単身高齢者見守り

・ 課題提出： **市内**



課題の背景

- ・ 地域や社会から孤立している高齢の単身世帯への見守りが必要
- ・ 市営住宅での孤独死発生
- ・ 住宅確保が困難な単身者が増加

課題解決の手法（活用したいデジタル技術等）

- ・ センサリングによる単身者見守りサービス
- ・ 水道・ガス・電気のスマートメーター等による利用データを活用した単身者見守りサービス

課題解決によって想定される効果

- ・ 認知症・要介護等，生活への支援が必要な世帯の早期発見
- ・ 単身生活者の住宅確保が容易になる

8. 気象観測データの漁業への活用

・ 課題提出： 市民



課題の背景

- ・ 函館市は漁業が盛んで、気象情報が重要である
- ・ 気象情報は細かく公開されていないか、公開されていても、場所がピンポイントではない

課題解決の手法（活用したいデジタル技術等）

- ・ 各機関が保有している各種気象観測データをオープンデータ化する
- ・ 水温等から漁獲量を予測するシステムの開発を行う

課題解決によって想定される効果

- ・ 経験で得てきた知識を広く共有することで、市全体の漁業の活性化を図る

9. 地域回覧板のデジタル化

・ 課題提出： 市民 庁内



課題の背景

- ・ 回覧板は働いている人は、受け渡しが大変（時間がかかる）
- ・ 担い手の高齢化
- ・ 人材不足による負担の増加
- ・ デジタルインフラの整備の遅れ
- ・ 若い世代が参画するためのニーズとの乖離

課題解決の手法（活用したいデジタル技術等）

- ・ メール，LINE等で携帯，パソコン等へ配信（携帯等無い方は函館市より貸与）
- ・ 町会の負担軽減を図るため，デジタルインフラ整備を充実させる
- ・ 働く世代のライフスタイルを考慮したデジタル回覧板の導入などを促進し，ニーズに合った運営や活動を目指す

課題解決によって想定される効果

- ・ 町会の担い手によるデジタルへの理解促進や技術習得に繋がる
- ・ 若い世代の町会に対する関心が高まることが期待される

10. キャッシュレス決済の推進

・ 課題提出： 市民



課題の背景

- ・ 様々な支払いがキャッシュレス決済で完結できれば市民や観光客が便利になる

課題解決の手法（活用したいデジタル技術等）

- ・ 市内の飲食店，スーパー等にキャッシュレス決済を導入

課題解決によって想定される効果

- ・ 観光客は買い物がキャッシュレスで完結するので身軽に動ける
- ・ 市民はキャッシュレスで完結するので家計の動きが把握できる
- ・ 赤ちゃんのいる家庭は手が塞がっていても会計が楽にできる

11. 若者の居場所づくり

・ 課題提出： **市民**



課題の背景

- ・ 少子高齢化，人口減少が進む中，若者の遊び場，楽しむ場所が少なく活気がない
- ・ 出会いも少ない

課題解決の手法（活用したいデジタル技術等）

- ・ VR技術やモーションキャプチャーなどの技術を用いて，映画やゲーム，スポーツイベントなど，都会でないと楽しめないようなイベント開催を企画する

課題解決によって想定される効果

- ・ 若者がまちで遊び，交流が増え，出会いが生まれる
- ・ 地域をアピールできる

12. 行政のデジタル化推進

・ 課題提出： 市民



課題の背景

- デジタル化が遅れている

課題解決の手法（活用したいデジタル技術等）

- 書類のオンライン提出
- チャットボットを活用した問い合わせ対応
- 函館市公式LINEの周知徹底

課題解決によって想定される効果

- スマホで手続きができるので役所の窓口が混む事が少なくなる
- 高齢者のスマホを使う習慣につながる
- デジタル化を役所から始めることによって市民がデジタルの良さを理解する

13. 子ども服などの譲渡会

・ 課題提出： **市民**



課題の背景

- ・ 市から子どもへの補助金が出ているが、物価上昇で飲食までしかまわせていない
- ・ 服や靴も新品は高額になっている

課題解決の手法（活用したいデジタル技術等）

- ・ オンラインにより、子ども用の服や靴、おもちゃ等、使わなくなったものを譲渡する
- ・ 譲渡会を定期的を実施する

課題解決によって想定される効果

- ・ まだまだ着れる服の有効活用
- ・ 親同士の交流
- ・ ゴミの削減

14. リモート授業

・ 課題提出： **市民**



課題の背景

- ・ 不登校児童の増加

課題解決の手法（活用したいデジタル技術等）

- ・ 自宅で学校の授業にリモートで参加できるようにする。（コロナ禍ではオンラインで授業を受けることができた。）

課題解決によって想定される効果

- ・ 不登校児童の学習の遅れや学習に対する不安を軽減
- ・ 不登校中の生活リズムの改善

15. 教員の働き方改革

・ 課題提出： 市民



課題の背景

- ・ 教員の働き方改革が課題になっている
- ・ 毎年，各学校へ教育委員会から新入学児童の名簿が紙ベースで送られてくるため，手入力で一からデータ作成している

課題解決の手法（活用したいデジタル技術等）

- ・ 紙ベースではなくデータでの送付

課題解決によって想定される効果

- ・ 名簿データの作成時間の削減
- ・ 入力ミス等のヒューマンエラーの防止

16. デジタルデバйд対策

- 課題提出： **市民** **庁内**

推進を支える取組

① デジタル推進人材の育成

② デジタルデバйд（情報格差）対策

③ 官民協働の仕組みづくり

課題の背景

- 市民や中小企業を含めてデジタル関連で困ったときの相談先がない
- デジタル変革を進めるうえで、情報格差対策が課題

課題解決の手法（活用したいデジタル技術等）

- デジタルサポーターを募集してデジタルの困りごとを相談できる場所をつくる
- スマホ教室
- スマホ相談窓口

課題解決によって想定される効果

- デジタルについて気軽に相談できるようになり、市民や中小企業のデジタルリテラシーを向上させることができる。
- 誰もがデジタルの利便性を享受できるような環境の実現